

令和4年度 上田市立西内小学校 自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）
知恵と ねばりと 思いやり	○自分や友達の良さや違いがわかり、互いを尊重できる子ども。 ○自分の思いや考えを表現できる子ども。 ○自分を鍛えチャレンジする子ども。 ○郷土を愛し、誇りを持つ子ども。
	今年度の重点目標
	22名の子どもを全職員で育てる『自ら』

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学校生活全般		学校生活は楽しい
	知恵 (学習)	関心・意欲	めあてや課題をもって、進んで学習に取り組む
		表現力	書いたり話したりして、自分の考えを表す
		学力向上	授業で「わかった!」「おもしろい!」と思える
	ねばり (生活)	目標達成・努力	目標に向かって取り組む
		責任	係・清掃など自分の仕事に責任をもって取り組む
		あいさつ・返事	進んであいさつや返事ができる
	思いやり (相手意識)	協力・協調	友だちと協力して活動に取り組む
		互助	友だちと助け合って生活している
		人権意識	友だちの気持ちを大切にしている
	その他	読書活動	読書に親しむ
		体力向上	体力が向上するように取り組む
		地域学習	地域についての学習に取り組む
学校運営	情報・周知	学校だよりやホームページ、学年だよりで学校の様子を伝えている	
	相談・支援の環境	児童・保護者が相談しやすい体制をとっている	
	職能向上	教師としての力量を高めるための研修を行っている	

総合評価					
ほとんどの児童が楽しく学校生活を送っていることを保護者・児童・職員・地域の皆様の誰もが感じていることが評価アンケートから確認できた。西内小学校最後の年となる来年度もまずは学校が「楽しい場所」でありたい。特色ある教育活動、金管バンド活動・登り窯活動・栽培学習は生活科や総合的な学習の時間に位置づけ、年間通して学習してきた。地域の方々にも多数学校での学習に協力いただいたが、校内のみの活動になりがちで子ども達自らが地域に出て行くことが少なかったように感じている。窯焚きをはじめ学校が大切にしている活動を通して、今後も地域と連携し地域を知る学校教育活動をより充実させ、保護者・地域・学校が連携し合える1年にしたいと考えている。					
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
特色ある教育活動を生活科や総合的な学習の時間に位置づけた。グループ活動を全校の活動につなげることが課題と言える。		○			特色ある教育活動を軸に教科横断的な学習を進める。教科担任制の利点を生かし異年齢の友だちと共に学び合うことで、お互いのよさを実感できるように、1年間の見直しを持ちたい。
成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
一人ひとりへの配慮・支援を充実させるための個別の指導計画を充実させてきた。	○				全員で一人一人に目を向けた教育ができるように取り組んでいく。個別の指導計画をより具体的に扱えるよう工夫する。
意欲的に学習に取り組む児童の様子がある。仲間と学び合い、追究する力を育てたい。		○			つけたい力を明確にし、手立ての吟味をしていくと共に、お互いを認め合い、高め合う学習の場を設定したい。
聞く力・話す力を高めるための支援を研究してきた。今年度の成果を来年度へとつなげる。		○			伝えたくなる、聞きたくなる場面を学習や生活の中に設定していくことを継続しつつ、他校との交流の場も活用する。
自らの問いを解決しようと学ぶ姿が見られた。仲間と共に解決していく力をつけたい。		○			一人ひとりのつけたい力を明確にし、手だてを職員間で共有する。その子にとって「できる」状況づくりを大切に考えたい。
諸行事を工夫し、目標を持って自分たちなりに取り組む児童の姿が見られた。		○			様々な行事の中で、児童の願いをもとに自身の力で自己実現を凶れるよう場面を設定していく。また、支援していく。
全校で分担しながら清掃に取り組み、3年生から児童会活動に参加してきた。		○			少人数であるからこそ個々が活躍する場面は多い。児童会活動を中心に自治活動を通して責任感を育てたい。
全校での朝の会、帰りの会や授業の始めと終わり等あいさつの場面を意識的に設定した。		○			地域の方々との関わりの中では自然とあいさつができていくが、校内外で気持ちの良いあいさつができる姿を目指していく。
今年度始めた全校での体育では、協力しながら種目に打ち込む姿があった。	○				全校での教科学習の時間や学校の特色ある活動が、友だちと協力しながらねらいを達成する場となるよう支援していく。
縦割りのなかよし班活動や総合的な学習の時間を通して、異学年で共に活動してきた。	○				縦割り班活動や、全校での活動を充実させながら、友達とのかかわりを深めることができるようにしていきたい。
6年生が下級生を見守る雰囲気はあるが、同学年で互いに認め合う関係を育てたい。		○			担任以外にも関わる生徒指導、生活指導、人権教育に力を入れ、勝ち負けではなく共に認め合う集団形成をねらう。
ボランティアによる読み聞かせやビブリオトーク、児童会企画、読書週間を設定し状況づくりを行った。	○				ボランティアの協力を仰いだり、読書週間の取り組みを応援したりしながら読書に親しむ環境をさらに整えていく。
集団登下校や全校での体育学習、体みがき体操に年間を通して取り組んだ。		○			全校での体育の授業で、勝ち負け以上の運動の喜びを味わうこと、技能や体力の向上に重点を置いた取り組みを継続させていく。
地域に出て行く場面が例年より少なかった。特色ある活動の取り組みで工夫していく。			○		総合的な学習の時間や行事において継続的な地域の方との関わりや地域を知る場面設定。地域の方への感謝を伝える年にする。
毎月の学校だより、ホームページの随時更新、学年だよりの毎週発行を継続できた。	○				学校だよりや学年だより、ホームページによる発信を継続して行くとともに、統合に向けた交流も発信していく。
長期休業明けの全員面談を行った。3学期には学級担任以外の職員との面談を行った。		○			担任だけでなくより多くの職員と相談できる機会をつくる。また、児童が相談しやすい環境づくりを進める。
全校体制で、自分の思いや考えを豊かに表現する学びを研究してきた。		○			今年度の成果を来年度、他教科での学習の中での場面設定や日常生活の中での指導に生かしていく。